【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公開番号】特開2010-32946(P2010-32946A)
【公開日】平成22年2月12日(2010.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2010-006
【出願番号】特願2008-197323(P2008-197323)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　21/00　　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　 5/74　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　21/00　　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　 5/74　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月9日(2011.6.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
温度センサーと、
ランプより放射された光束を集光して映像変調素子に導く照明光学系の中に設置されて光量を制御する遮光しぼりと、
前記遮光しぼりの開閉を制御する制御手段を備え、
前記温度センサーによって検出された温度が予め定めた閾値を超えた場合に、前記制御手段が前記遮光しぼりにより映像変調素子に入射する光量を所定の割合に減ずるように制御することを特徴とする投写型表示装置。
【請求項２】
前記温度センサーの温度測定箇所が、反射式の映像変調素子であるＤＭＤ素子、あるいは、その近傍であることを特徴とする請求項１に記載の投写型表示装置。
【請求項３】
ランプの累積使用時間を記憶する点灯時間記憶手段を備え、ランプの累積使用時間が所定の値を超えた場合に、前記制御手段が前記遮光しぼりによって光量を減ずる割合を変化させることを特徴とする請求項１または２に記載の投写型表示装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記課題を解決するために、本発明の投写型表示装置は、温度センサーと、ランプより放射された光束を集光して映像変調素子に導く照明光学系の中に設置されて光量を制御する遮光しぼりと、前記遮光しぼりの開閉を制御する制御手段を備え、前記温度センサーによって検出された温度が予め定めた閾値を超えた場合に、前記制御手段が前記遮光しぼりにより映像変調素子に入射する光量を所定の割合に減ずるように制御することを特徴とするものである。